

令和7年度府中市立本宿小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
➡ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ・ すすんで課題を発見したり、体験や生活と結び付けて学んだりする姿の実現。
- ・ 学習課題や学習問題を自分事と捉え、主体的に関わろうとする姿の実現。
- ・ 対話を通して自分の考えを表現したり、多様な考えに触れたりして、課題解決に向かおうとする姿の実現。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ・ 児童の「やりたい」や「知りたい」を引き出す授業展開の工夫。
- ・ 児童が課題意識を明確にもつことができ、解決に向けて見通しをもって学習活動に取り組める授業展開の工夫。
- ・ 児童が得た学びや気づきを表現したり交流したりすることができる学習活動の展開の工夫。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ・ 自らの課題や新しい問い、解決方法の見通しや新たな考え等をすすんで発見できる子。【発見】
- ・ 自ら見つけた課題の解決に向かい、主体的に学びに向かう子。【対話・決定】
- ・ 自分が得た学びを、対話などの言語活動を通してすすんで表現できる子。【表現】

(2) 目指す授業像

- ・ 児童の意欲や課題意識を引き出すために、導入や課題との出会わせ方に工夫した授業。【発見】
- ・ 児童にゴールイメージや課題解決の見通しをもたせる展開を徹底した授業。【発見・決定】
- ・ 児童が学びを伝えたり、生活場面に生かしたりできる学習の場の工夫。【対話・表現】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

| | | | |
|----|--|------|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none">・ 人物像や物語の全体像を幅広く想像したり、表現の効果を考えたりするために、教材から得られる情報の活用を提示し、児童自身の主体的な学びになるよう指導を充実する。【発見・決定】・ 文章から書かれている内容を正確に読み取ったり自分が伝えたいことを正しく表現できるようにしたりするために、新聞や読書など言葉に触れる機会を増やし、語彙力を高めていく。【発見・表現】・ 話し合い活動や発表などの言語活動を学習に多く取り入れ、自己表現の機会を保障していく。【対話・表現】 | 音楽 | <ul style="list-style-type: none">・ 曲想と音楽の特徴をとらえ、表したい音楽表現を身に付けるため、対話をしていく中で学びを深めていく。【対話・発見・表現】・ 音楽を愛好する心情と歓声を育むため、活動を通じて曲の良さを見出し、味わって聞く。【対話・発見】・ 音楽の特徴や構造に着目しながら感じたことや気づいたことを伝え、共有していく中で学びを深めていく。【発見・表現】 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none">・ 「なぜそうなるのか」「他にも考え方はないか」という揺さぶりの発問を繰り返し、児童が深く考えたり考えを広げたりするきっかけをつくるとともに、他の人の考えも聞いてみたいと自然に思えるようにする。【発見・対話】・ どのような既習事項を使えば課題を解決できるのか、数学的な見方・考え方についての自力解決の時間を設け、課題解決への見通しを児童がもてるようにする。【発見・決定】・ 「良いと思った考え方とその理由」「他の場面で生かせそうなことや生かしてみたいこと」という視点での振り返りを行い、それを共有する時間を設けることで、児童が学びのつながり（系統性）を意識できるように | 図画工作 | <ul style="list-style-type: none">・ 単元の導入で多様な例を示したり、様々な素材に直接触れられるような場を設定したりして、児童が学習のゴールイメージをもって取り組めるような環境をつくる。【発見・決定】・ 制作の計画を児童自身に立てさせるとともに、毎時間の最初に計画を見直す時間を設けることで、児童がより具体的な見通しをもって活動を進められるようにする。【発見・決定】・ グループ活動や鑑賞活動において、視点の例を示すことで、児童が友達の作品の良さや違いを感じ取り、自身の製作に生かせるようにする。【発見・対話・表現】・ 自分の思いやイメージに合った用具や材料を選んで活動する機会を作る。【決定・表現】 |

令和7年度府中市立本宿小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

| | | | |
|----|---|-----|---|
| | するとともに、生活の中にある算数に意識を向けられるようにする。【発見・表現】 | | |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童が、資料を見て気付きや問いをすすんでもつことができるように、掲示する資料を工夫していく。【発見】 ・単元を貫く学習課題を児童の言葉から設定し、課題解決に向けた探究活動を主とした授業展開を基本とする。【対話・決定・表現】 ・必要な情報を読み取る力を高めるために、グラフや表を読み取る学習や資料を活用する学習を取り入れる。【対話・表現】 | 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の役割について考え、家族の一員である自分を肯定的にとらえさせる。学習した内容を実生活に反映させ、そこからさらに課題を見出していくことのできる学習を浸透させていく。【発見・決定】 ・ 作業の手順のポイントを図やキーワードで示し内容を確認する。準備から片づけまで見通しをもって取り組めるよう掲示方法を工夫する。教科を横断的にとらえ、既習事項を想起させながら取り組めるようにする。タブレットを効果的に活用し、作品写真や感想を皆で共有させる。【対話・表現】 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が、目的意識をもって問題解決の見通しをもち、主体的に観察・実験に取り組むために、児童の気付きや問いから学習問題につなげる指導を行う。【発見・決定】 ・ 児童が自然に親しむことによって見出した問題に対して、予想や仮説をもち、それらを基にして観察、実験などの解決の方法を発想できるようにし、問題解決を主体的に行えるようにする。【決定・表現】 | 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 端末の撮影・保存・再生機能・共同編集機能を活用し、映像をグループやペアで見合ったり考えや作戦等をまとめたりする中で、児童が自分の課題や友達の多様な考え方等に気付いて学びを深めていけるように指導する。【発見・対話】 ・ 児童の実態に合わせて、自分で課題を選択して取り組めるように、場を工夫する。【決定】 |
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の素朴な問いを引き出せるような教材の提示や発問の工夫を行う。【発見】 ・ 自分自身や身近な人々、社会や自然との関わりという視点から、目的意識や課題解決の見通しを児童にもたせ、主体的な学びにつなげる。【発見・対話】 ・ 具体的な活動や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりについて生活上必要な習慣や技能の習得を図る。【発見・対話】 ・ 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え自分自身や自分の生活についての課題を、見通しをもって学ぶとともに、表現させていく。【表現】 | 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2文ダイアログを繰り返し練習する活動を通して、伝えたいことを英語で伝え合う力を高め、話題を綱げながらやり取りを続ける力へとつなげていく。【表現】 ・ 活動を通して、「言えたこと」「言えなかったこと」に気付きながら、対話を重ねる中で学びを深め、目標や方法を自ら選んで取り組む姿勢を育てる。【発見・対話・決定】 |

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ・スライド、スプレッドシート、クラスルームの質問機能を活用して、自分の考えを表現する。【表現】
- ・Figjam を活用して、資料に書き込みをし、課題を発見する。【発見】